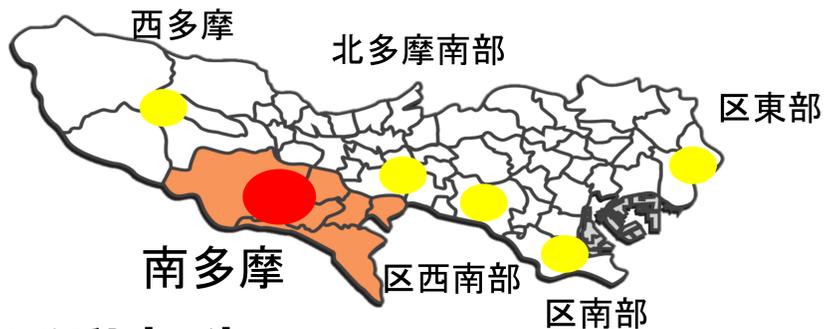


高次脳機能障害支援普及事業



平成18年11月1日から、障害者自立支援法に基づき都道府県が行う専門性の高い相談支援事業。東京都では現在6圏域が実施。



南多摩高次脳機能障害支援センター

平成25年6月より、東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を受諾。当センター特徴として広い圏域をカバーするため永生病院と協力3病院とで実施している。



活動報告

「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供出来る体制の充実を図る」を目的とした。

①相談窓口の設置

相談件数11件、事務局での電話対応の他、研修会で相談コーナーを設置して対応した。

②事例検討会、圏域連絡会の開催

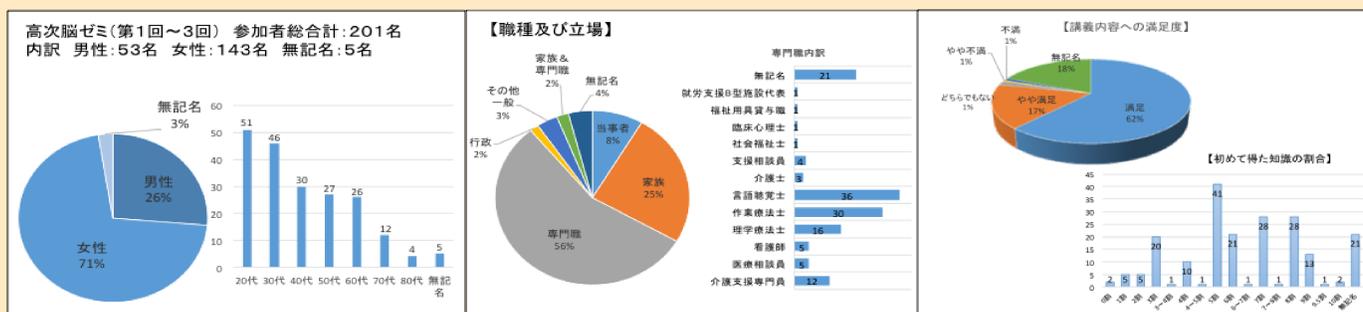
項目	日時	内容	参加者数	開催地
症例検討会	平成25年8月4日	第4回東京高次脳機能障害実践ネットワーク事例検討会	110名	八王子市
	平成26年1月29日	「高次脳機能障害のある方の就労支援を考える」事例検討会	31名	八王子市
連絡会	平成25年7月18日	圏域情報交換会	20名	八王子市
	平成25年7月31日	圏域内連絡会	22名	八王子市
	平成25年12月3日	町田市高次脳機能障がい関係機関等連絡会	20名	町田市
	月1回(8月～)	協力施設連絡会	10名	多摩市

③支援者への研修(高次脳ゼミ)を実施

支援者、当事者及び家族を対象とし1回目:医師から、2回目:セラピスト(ST)から、3回目:当事者家族の立場から講義という構成で実施。

	日時	テーマ及び講師	参加者数	開催地
第1回	平成25年10月14日	『コウジノウキノウショウガイ』とは ～病院でできること、出来ないこと～ 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 教授 渡邊 修先生	107名	多摩市
第2回	平成26年11月24日	高次脳機能障害のある方のリハビリと就労支援 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 坂爪 一幸先生	117名	八王子市
第3回	平成26年12月8日	高次脳機能障害のある家族と暮らす フェリス女学院大学 教授 立神 粧子先生	69名	多摩市

研修会(高次脳ゼミ)のアンケート結果



- 全3回で201名/293名からアンケートを回収した。
- 参加者の立場は専門職が56% 当事者・家族の参加率は33%
- 満足度は満足・やや満足合わせて79%だった

今後の課題

- 研修会、症例検討会の充実 (研修会は医療職・福祉職・家族を対象者を分けて実施)
- モデル事業『医療と福祉をつなぐ会』を多摩丘陵病院と実施。町田市の促進事業を支援し、他市へも促す。
- ホームページの充実 ● 家族会との連携 ● 相談対応の拡充
- 高次脳機能障害者の実態調査 ● ガイドブックの作成

最後に

高次脳機能障害は見えない障害と言われ、社会生活に支障になることが多い。そのため当事者本人だけでなく、家族や支援者への支援を行う事で、円滑な社会生活を行われるように支援していきたい。